

市立高校及び専門学校との意見交換会について  
【意見の概要】

## 1 日時及び参加者

## (1)千原台高等学校・総合ビジネス専門学校

日 時：令和3年（2021年）9月16日（木）16時から17時30分まで

場 所：各校及び教育長室等

参加者：各校の生徒、教職員、小屋松教育委員、苫野教育委員、遠藤教育長

(単位：人)

グループ	千原台高等学校		総合ビジネス専門学校		計
	生徒	教職員	生徒	教職員	
A 苫野委員	8	7	-	-	15
B 小屋松委員	-	-	4	5	9
C 遠藤教育長	-	-	4	5	9
計	8	7	8	10	33

## (2) 必由館高等学校

日 時：令和3年（2021年）9月21日（火）16時から17時30分まで

場 所：必由館高等学校及び教育長室等

参加者：生徒、教職員、同窓会、出川教育委員、西山教育委員、遠藤教育長

(単位：人)

グループ	必由館高等学校			計
	生徒	教職員	同窓会	
A 遠藤教育長	3	6	1	10
B 西山委員	3	6	1	10
C 出川委員	3	5	1	9
計	9	17	3	29

## 2 開催方法：オンライン会議

## 3 意見交換会の内容

- (1) 開会
- (2) グループに分かれての意見交換会（各校生徒等と教育委員）
- (3) 各グループで出た意見の共有（全体）
- (4) 閉会

※改革における事務局からの説明は事前に動画配信

※各グループの意見概要は2ページ以降に記載

## 1. 改革における事務局からの説明について

- (生 徒) 探究に取り組むことで国公立大進学者数が30倍に増えたのはすごい、千原台でもこうなるといい。
- (生 徒) 探究で進学率が上がることが意外だった。
- (生 徒) 18歳意識調査「国や社会に対する意識」について日本はどの項目も数値が低ことに驚いた。社会に意識をもって考えていきたい。
- (生 徒) 先進校の改革の成果を見て、千原台ももっと変われるところがあると思った。
- (生 徒) 探究で自分の好きなことを調べ、夢を見つけたい。
- (生 徒) 海外で活躍したいと考えているが、探究との関係性をあまり感じない。探究についてよく分からないため、もっと知りたい。

## 2. 千原台高校の良いところや残したいところについて

- (生 徒) スポーツなど部活動がさかん。探究でスポーツについて深く学べるようになるといい。
- (生 徒) (アメリカ) サンアントニオ市との交換留学制度。
- (生 徒) 地域の方との関わりが密接で積極的に協力してくれる。
- (生 徒) 近隣小学校との連携。城西小学校での朝の挨拶運動。

## 3. 変えたいことやこうしたいことについて

- (生 徒) 目的意識を持っている生徒とそうでない生徒で授業に向かう姿勢に差があるため、自分が学びたいことを選択でき、少人数で学べる環境をつくる。月一回、学期一回、外部の特別講師による対面授業を行う。
- (生 徒) 職場見学、職場体験を取り入れ、早い時期から進路を考えることが大切。
- (生 徒) 今学校にない購買部を作る。簿記での学びをいかして、生徒自身で経営しビジネスを学ぶ。

## 4. 心配なことについて

- (生 徒) 国際経済コースに入学したのは、「留学ができる」「英語の勉強がしっかりできる」から。改革では国際経済コースがなくなっている。
- (生 徒) 2年生にとっては卒業した後のことなので、改革に前向きな思いの生徒が少ない。

## 5. 主な感想

- (生 徒) 今日聞いた他の人のアイデアや自分の考えを、いろいろな人に発信し改革に興味を持ってもらうようにしたい。
- (生 徒) 将来の夢は教員。生徒の人生を良くしたいという思いがある。自分がしたいことを深く学べる学校にしたい。
- (生 徒) 定員割れ等の学校の課題を解決するためにも、地域、地域小中学校との連携等の良いところを残しながら改革していきたい。

### 1. 今の総合ビジネス専門学校の良いところについて

- (生 徒) 現在、3つのコースがあって自分の進路に向けた勉強ができるところ。
- (生 徒) 交通アクセスが非常にいい学校、しっかり勉強できる学校。
- (生 徒) 駅に近く通学に便利。
- (教職員) 資格取得などの目標を持って入学し、放課後、切磋琢磨しながら勉学に励んでいるところ。

### 2. 今の総合ビジネス専門学校の中で、改革後も残してほしいことについて

- (生 徒) 守りたいのは生徒の自主性、生徒主体の学校づくり。
- (生 徒) 単位制ではないので、みんなが同じ授業を受け、教えあって勉強できるところ。
- (生 徒) 環境と自主性、勉強しやすいなど、また信頼できる仲間やいいところを残してほしい。
- (教職員) 夜間の担当をしているが、夜間の魅力を残してほしい。昼間中心で改革の話が進んでいる。
- (教職員) 4月に赴任してきたので、まだ全体が見えていないが、良いところも悪いところもあると思うので、見つめ直す必要がある。

### 3. 今の総合ビジネス専門学校で、改革してほしいところについて

- (教職員) 情報の世界は進化が激しく、映像や写真加工、ドローンを使った仕事が増えているのでそれに対応できるようにする必要がある。
- (教職員) 改革するなら思い切って取り組まなければ意味がない。高校生から見て科目や就職など今あるものにとらわれない発想が必要。全国からきてもらう学校にして、その中で数名でも熊本に残って働いてくれたらいい。

### 4. 自分が新しい専門学校に通うなら、どのような授業を受けてみたいかについて

- (生 徒) ICT、プログラミング(C言語、Java)、簿記も2級まででなく1級まで学べるようにする。社会的には簿記と言えば日商簿記なので全経簿記ではなくて日商簿記中心にする。
- (生 徒) 入学してから国家試験に合格するために勉強してきたので、旅行の計画を立てるなど楽しく勉強したい。
- (生 徒) 社会人経験者として、メンタルヘルスマネジメント、社会福祉的なものを学びたい。

### 5. 新しい専門学校の授業の中で、あると役立つだろうと考える授業について

- (生 徒) プログラミング言語(C言語、Java)は社会に出て必要なスキルであると思う。またリモートやプレゼンテーションの時間を設けるとよい。
- (生 徒) 何らかの資格取得に向けた勉強に対する時間を増やしてほしい。
- (生 徒) 語学、TOEICとか、世界で通用するような資格。

## 6. 学科名「ベンチャービジネス科」について

- (教職員) 大学でも似たような名前があるが、この名前がいいのか答えは出せていない状況。
- (教職員) 世の中はカタカナ表記であふれていて、何か分からないところがある。ダメということではないが、できれば分かりやすい言葉がよい。
- (教職員) 日本語がいい。ビジネスと言われても何をするかが分かりにくい。
- (生徒) かなりインパクトが強い名前だと思う。初年度は増えると思うが、最大の問題点は実績を上げられるかどうか難しいと思う。起業できなければリスクが伴う。この専門学校の強みである情報とか簿記などの資格取得も可能であるなどの情報も入れる。ICT、経理や会計など分かりやすい言葉を入れる。
- (生徒) 発想は面白いと思うが、現実問題にすると難しい。
- (生徒) 横文字だけだと内容が分からないところはある。今の総合ビジネス科で変える必要はないと思う。

## 7. 学科名を決めるアンケートについて

- (教職員) 校内でとるのもいいが、公立の学校なので広く公募してはどうか。
- (教職員) 現在はネットを使った方法などたくさんあるので、どんな中身になるのか決まった上で募集すれば様々な意見をいただけるのではないかな。

## 8. これまでの学科名「総合ビジネス科」・「OA経理科」について

- (生徒) 専門学校(本校)を知らない友達に説明するときに総合ビジネス科だけでは分かってもらえない。コース名まで言わないと分かってもらえないことが多い。

### 1. 今のビジネス専門学校の良いところや今後も残してほしいところについて

- (生 徒) 経理や商業簿記、パソコン、ビジネス文書等の資格が取れるところ。
- (生 徒) パソコンが完備されているところが良い。
- (生 徒) 進路指導が積極的で面接指導が充実しているところ。
- (生 徒) レストランサービス検定やビジネスマナーの資格が取れるところ。
- (生 徒) 就職先として医療事務などの事務系や経理、販売、営業に人気があるところ。

### 2. 今のビジネス専門学校で足りないもの(改善してほしいこと)について

- (生 徒) 就職活動の時期を早めてほしい。1年生のうちに活動ができると、2年次において、必要な資格取得の取組につなげることができる。
- (生 徒) 視野を広げるためにもインターンシップの日数や行くことのできる会社数を増やしてほしい。
- (生 徒) 春休みの期間を少なくしてでも就職活動の時間に充てたい。
- (生 徒) プログラミングを掘り下げて授業してほしい。
- (生 徒) 企業の合同説明会への参加を1年生の時から案内してほしい。
- (校 長) インターンシップについて、以前は1年生の3月に行っていたが、今年から1年生の12月に実施することとしている。来年度以降、8月からの実施を検討したい。また、2～4週、複数の会社で実施できるよう取り組みたい。プログラミングについては、今年の1年生から生徒等の意見も取り入れ、実施している。企業の合同説明会については、今の状況は遅いと思っているので、もっと早く案内していきたい。
- (教職員) 就職については、支援が手厚くなってきているので、もっと広報していく。インターンシップについては、早い時期や夏季休業日にも行えるよう検討する。意識が高い生徒が早い時期から取り組むことで、全体の意識が上がると思う。先輩で起業された方から話を聞くのも生徒達は刺激を受けると思うのでやっていきたい。また、そういった方や専門家の方々から話を聞くことは、カリキュラムを編成していくうえでも必要。令和5年を待たずともやっていきたい。

### 3. 学科名「ベンチャービジネス科」について

- (生 徒) 日本語よりも横文字の方が良い。
- (生 徒) 総合という言葉を残してほしい。複数のコースを統合して自分の就きたい職業に就くことができるということを表現するため、ジェネラルコースがいい。他の学校との差別化のため、「科」よりも「コース」がいい。
- (生 徒) インフォメーションビジネスコースにするといいのではないか。
- (生 徒) ベンチャーの意味を調べても、あまりパツとしない。
- (教職員) 教育委員会からの説明ビデオを観て、探究という言葉がすごく心に残った。ビジネス探究科がいいのではないかと思うが、生徒がどう感じるかが一番大事と考える。

## 必由館高校 遠藤教育長Aグループ 意見概要

### 1. 必由館の良いところ、さらに伸ばしていきたいところについて

- (生 徒) スポーツが得意な生徒、芸術に長けた生徒、勉強に頑張る生徒など多様な人材がいる。
- (生 徒) 和太鼓部、音楽部などの部活動をしたい生徒が多い。また立地的にも通いやすいこともあり、遠くから入学してくる生徒もいる。
- (生 徒) 普通科は幅広い進路選択が可能な時間割編成となっている。
- (生 徒) 他校と違い、たくさんのコースがある。普通科、専門のコースでお互いに刺激を受けることができる。

### 2. 高校入試でなぜ必由館を選んだのかについて

- (生 徒) 自分の偏差値に合って、多様な進路選択ができ、設備もきれいなことが選択した理由。
- (生 徒) 服飾か大学進学を目指すか迷っていたが、卒業後の進路希望が入学当初考えていたものから変わっても、対応できる学校であるため。
- (生 徒) 勉強、スポーツどちらを頑張っても先生が全力でサポートしてくれると先輩に聞いた。

### 3. 将来的により良くしてほしいこと、課題について

- (生 徒) 進路(夢)選択の幅を広げるために、職場体験、市の活動への参加、公務員試験に特化した学習など、なりたい職業に関する勉強ができるようにする。
- (生 徒) 全員が同じ学力ではない。生徒が授業中に個人的に先生に質問でき、自分が学びたいことを突き詰められる環境があるといい。
- (生 徒) 入学した後に勉強しなければいけないという雰囲気あまりない。勉強の必要性、モチベーション維持についてしっかり指導して欲しい。

### 4. 将来のキャリアについて

- (生 徒) 2年生では少人数しか将来の職業について決めていない。家では母がしばしば将来のことについて聞いてくるし、相談もし易い。学校でも定期的に考える時間をとると進路についてしっかりと考えることができるのではないかと。
- (生 徒) 美容師になりたくて服飾デザインコースに入学したが、総合的な学習の時間で職業調べをする中で、別の職業に関心ができた。
- (生 徒) 体感では、同級生の6、7割はなりたい職業が決まっている感覚。職業体験を通して、大学での学びやモチベーションの維持につなげることができるのではないかと。

### 5. その他

- (教職員) 生徒の思いについては、入学時に勉強する雰囲気になっていないことへ不安があるなど共感する部分もあった。生徒の思いを大切にしながら学校の課題をともに解決していきたい。
- (教職員) プロフェッショナルとジェネラリスト両方の生徒がともに同じ場所で学んでいるところに必由館の特色がある。今後、多様な生徒の受け入れや進路目標について対応していきたい。
- (同窓会) 今の学校は魅力がある。以前は就職が多かった。元気な校風は変わっていない。

## 必由館高校 西山教育委員Bグループ 意見概要

### 1. 改革について

- (生 徒) グローバル探究科より、普通科を残してほしい。倍率は下がっていないので普通科のままがいい。
- (生 徒) 普通科を残してほしい。普通科なら文系・理系が選べる。
- (生 徒) 必由館は倍率が高く、いろいろな人が進学（進路の選択）できるので普通科がいい。
- (生 徒) 今の国際コースと同じなら、文系しかないので理系が選べる普通科がいい。
- (教職員) グローバル探究科はコロナで今の時代マイナス面が社会にでてきている。グローバルを打ち出してこの学校はこの先十年、数十年先大丈夫なのか。
- (教職員) 普通科は倍率がいい。国際コースの倍率は普通科より低いのでグローバルにした時どうなのか。保護者は世界的に活躍してほしいと思っているのか。
- (教職員) 普通科をなくすことで倍率が下がるのではないか。
- (教職員) 芸術コースを担当しているが、医療系を志す生徒が増えている。グローバルだと医療系に進学できるか不安。
- (同窓会) 生徒が減ることが心配。卒業生として部活動を応援したいが部活動が成り立つのか。

### 2. 中高一貫教育について

- (生 徒) 反対。小学生が附属中学校に進学しないのではないか。高校と一緒に（施設を）使用するので部活動がしっかりできないのではないか。
- (生 徒) 反対。附属中学校を受験する人が少ない。他校にも附属中学校があるので必要ない。
- (生 徒) 反対。受験者が少ない。近隣に竜南中があるのでわざわざ附属中には来ない。
- (教職員) 同じ校舎に中学生 1 年から高校生 3 年までが一緒にいるのは不安。通学するのに 1 時間以内で来られる生徒がどれだけいるか、全校生徒が少なくなるなどの問題がある。つくるとすれば別の場所にきちんとつくった方がよいのではないかと考える。
- (教職員) 附属中学校に反対ではないが、高校がどういう高校になるのか分からない段階で受験する児童がいるのか。改革後の高校の実績を見て小学生は受験すると思うので、実績がない時点で附属中学校をつくるのは時期尚早ではないか。高校受験がないことはとてもメリットがあると感じるが、一方、安易に附属中学校を受験する児童もいるのではないかは心配。
- (教職員) 必由館高校（教職員）の対案は基本計画（素案）を再点検し作成した。コロナ禍により、検討委員会を行った 2 年前に比べて市政の状況や社会の価値観も変わっているのではないか。グローバル探究科はネーミングであって中身はグローバルだけに特化したものではないことは理解しているが、改めて何に特化していくのか、特化しないのであればそこを理解できるよう、ネーミングや教育課程を再考すればいい。コロナ禍で予算が厳しいと思われるが、当初思い描いていた施設面の整備が可能なのか。

### 3. 探究について

- (生 徒) 興味関心を持って勉強するのは大事。今の必由館でも取り入れることが出来る。
- (生 徒) 大学進学には、学習進度が遅くなるので、今までどおりの授業がいい。

(生徒) 探究は必要だと思うが、今のままでもいい。

(教職員) chromebook を提供してもらったので探究学習がしやすくなった。

(教職員) (体育の教員としては) やらせる授業ではなく、自分で考える授業を意識して授業している  
ので探究をしなくて普通科のままでいい。

(教職員) 堀川高校と必由館高校は違うので、必由館高校でできることを考える。

## 必由館高校 出川教育委員Cグループ 意見概要

### 1. 必由館高校が今後どのようになっていけばいいのかについて（望む高校の姿）

- (生徒) 生徒が自主的に行動し、生徒が主体的にやっていく方がいい。改革も、生徒や先生、教育委員会がしっかり話し合いながらやっていくことが大事。
- (生徒) 今回の意見交換会のようにリモートでもいいので、話し合う機会があるといい。
- (生徒) 自分の個性が発揮できたり、自分が表現できるような学校。
- (生徒) 生徒一人ひとりが発言できるような学校。
- (生徒) 学校主体での行動を発信することができる学校。生徒、教職員、保護者だけでなく、地域の方々からの視点も取り入れていく必要がある。
- (教職員) 基礎学力を充実するとともに、探究を通して生徒一人ひとりが主体的に発信できるような学校。

### 2. 改革について

- (教職員) 生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、環境面の整備が必要。例えば、附属中学校を開設するのであれば、中学生向けの図書館充実が必要。また、特別支援関係の教職員の充実も必要。
- (教職員) 現時点で満足度の高い学校だと思う。部活動への加入率が高いのは活発な学校の証拠。生徒会が目標をもって活動すると学校が変わる可能性がある。生徒の個性はないのではなく、眠っている。
- (同窓会) とにかく今の学校の生徒が楽しそう。今の雰囲気は残してほしい。保護者としても部活の部員はみんな自分の息子のような感じ。生徒が自分の思っていることを言える雰囲気を残してほしい。今の学校には、自分がやりたいことができる環境や個性を認めてもらえる先生方の存在が生徒の自信につながっている。
- (教職員) 社会がすごいスピードで変化している中での改革はわかるが、附属中学校の開設のイメージがわからない。探究は大賛成で、今の授業の中でもやってみたが、生徒の満足度も高かった。探究をするためには、行事の精選や3年間を見通したシラバスの作成が必要であり、探究が充実すると学校が変わっていくと思う。
- (教職員) 改革をするためには、環境を整備してからだと思う。附属中学校を設置するには、技術室も給食施設もない。環境整備の時間が必要だと思う。
- (教職員) 改革の決定プロセスに問題があると思う。上から言われて改革をやるのではなく、下から積み上げて改革した方がいい。慎重にやっていただきたい。

### 3. 生徒の感想

- (生徒) 今日の意見交換に参加したことで、先生や保護者の生徒や学校に対する想いを聞いて良かった。
- (生徒) 改革に対する先生方の意見を聞いて良かった。